

支部長就任のご挨拶



このたび、公立学校共済組合和歌山支部長に就任いたしました宮下和己です。
現在、我が国では少子高齢化や家族形態の変容等、急速に社会が変化しており、
国においても社会保障制度の改革が推進されているところです。
当共済組合におきましてもこのような取り巻く状況を踏まえながら、組合員の皆様
及びそのご家族が健康で安定した生活を営むことができますよう、この重責を担って
いく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

公立学校共済組合和歌山支部
支部長 宮下 和己

平成27年度 公立学校共済組合和歌山支部事業計画について

公立学校共済組合は、全国の公立学校の教職員等を組合員として組織され、東京都千代田区にある本部と、47の支部(都道府県教育委員会に設置)で構成されています。支部には、諮問機関として「支部運営審議会」が設置され、毎年度の事業計画並びに予算、決算その他支部の所管事務に関する重要事項などを審議しています。

平成27年3月4日(水)に開催された支部運営審議会では、平成27年度の事業計画及び予算について審議し、承認されました。

平成27年度 公立学校共済組合和歌山支部事業計画

公立学校共済組合の予算については、組合員数の減少や教職員給与の見直し等により、年々減少傾向にあり、限られた財源の中で効率的かつ効果的な保健事業の実施に努める。

平成27年10月から実施される被用者年金一元化に対して、標準報酬制の導入による各事業への影響も吟味し、適切かつ迅速な対応をとれるように努めるとともに、組合員の十分な理解を得るため、所属所担当者等に研修等の機会を設ける。

また、社会保障・税番号制度の利用開始に向けた情報収集に努める。

なお、広報全般については、共済手続きについて重点的に行うものとし、効果及び効率を考えた上で媒体を選択し、計画的に実施する。

■ 短期給付事業

- ・ 組合員と被扶養者情報の管理及び病気や負傷者等に対する医療給付等を含む短期給付について、本部の短期給付システム等を核とした事務的確化・効率化を推進し進める。
- ・ 医療費の適正給付及び抑制を目的として、組合員及び被扶養者あてに「医療費通知」、及び「ジェネリック医療品の利用促進」を引き続き行う。

■ 長期給付事業

- ・ 被用者年金一元化による事務処理の変更について、本部主催の研修に参加する等情報の取得に努める。
- ・ 被用者年金一元化後のワンストップサービスに伴う年金相談体制の充実を図る。

■ 保健事業

- ・ 組合員及びその被扶養者の心身両面にわたる健康の保持増進や

元気回復等に資することを目的として、健康管理事業(人間ドック、メンタルヘルス相談等)の他、各種の保健事業を行う。特にメンタルヘルス対策に関しては、事業の継続的な推進と充実を図る。

■ 住宅事業

- ・ 公立学校共済組合名義の教職員住宅の管理を行う。(新規建設については、平成24年度末を持って廃止となった。)

■ 貸付事業

- ・ 組合員の生活支援及び住宅、結婚、教育、その他生活必需品の購入などのために必要となる資金等の貸付を行うとともに、貸付保険事故の防止に努める。
- ・ 標準報酬制導入による混乱をまねかないように、本部や事務担当者等の意見を聞きながら、事務手続きの簡素化に努める。

■ 宿泊事業

- ・ 宿泊施設と連携し、教職員の福利厚生に寄与するための、サービスの向上と経営改善及び適正な事業運営に努める。

■ その他

- ・ 広報については、適宜必要な時期に行うように努める。
広報誌「共済わかやま」(年3回)の発行
退職サポートブック(年1回)の発行
共済タイムリー(年3回)の発行
- ・ ホームページについても、事務手続きの流れを踏まえたメニュー構成に変更(4月)し、利便性の向上に努める。

平成27年4月から 介護掛金率が変わります

平成27年4月から9月までの介護掛金率は下表のとおりです。短期給付の掛金率は平成27年4月から9月まで変更ありません。

なお、平成27年10月以降の掛金率については、被用者年金制度一元化に伴い掛金の基礎となる給料月額が標準報酬制となるため改めて通知することになります。

現在の掛金率
(平成26年4月から現在)

| | 介護掛金 |
|-------------|------------|
| 対 給 料 | 6.08/1000 |
| 対 期 末 手 当 等 | 4.86/1000 |
| 任意継続組合員 | 12.16/1000 |

4月からの掛金率
(平成27年4月から9月まで)

| | 介護掛金 |
|-------------|------------|
| 対 給 料 | 6.12/1000 |
| 対 期 末 手 当 等 | 4.89/1000 |
| 任意継続組合員 | 12.24/1000 |

平成27年度公立学校共済組合の広報について

平成27年度は被用者年金制度一元化という共済制度の大きな変更が予定されており、制度改正や各事業に関して組合員の皆様に十分な理解をいただくため、積極的に情報提供を行っています。

組合員の皆様がそうした変更があっても安心していただけるよう、分かりやすく丁寧にお伝えしたいと思います。

| 広報手段 | | 対象 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|--------|--|-------|-------------|----|----------|----------|----|----|-----------|-----|-----|------------|----|----------|
| 共済組合本部 | インターネット ホームページ【 http://www.kouritu.go.jp/ 】 ・共済組合本部が直接実施している事業、制度解説及び共済組合全体に関する情報を掲載します。  | 全組合員 | | | | | | | | | | | | |
| | 広報誌 共済フォーラム ・制度解説など共済組合全体に関する広報を行い、共済組合及びその事業への理解を深めるための一助となるよう、可能な限り最新の情報を提供します。  | 全組合員 | | | ○ 6月号 | | | | ○ 9月号 | | | ○ 12月号 | | |
| 和歌山支部 | インターネット ホームページ【 http://www.kouritu-wakayama.jp/ 】 ・事務手続の流れを踏まえたメニュー構成で、組合員及び家族の方が必要な書類を自身で準備・作成することができます。 ・所属所長及び共済事務担当者が、共済事務に必要な十分な知識を得ることができる情報量を記載します。  | 全組合員 | ○ リニューアル | | | | | | | | | | | |
| | 広報誌 共済わかやま ・共済組合本部からの広報誌に掲載された制度説明の補足や共済事務手続等を、より具体的に分かりやすく掲載します。 ・広報誌に親しみを感じていただくための特集欄を充実します。 ・一部のページを取り外して保存版として活用していただけます。  | 全組合員 | ○ 4月号 | | | ○ 7月号 | | | | | | ○ 1月号 | | |
| | 文書 共済タイムリー ・共済事務担当者の方に、共済事務を円滑に進めていただくために知ってほしい情報をタイムリーに発信します。  <small>※画像はイメージです。</small> | 事務担当者 | | | ○ 6月号 | | | | ○ 10月号 | | | | | ○ 2月号 |
| | 冊子 退職サポートブック ・被用者年金制度一元化(H27.10月)後の事務手続の流れを、図解をふんだんに盛り込み分かりやすく記述します。 ・退職後の生活を具体的にイメージしてもらうため、多様な実例をもとにした「共済制度ポイント解説」欄を充実します。  | 退職予定者 | | | | | | | | | | ○ 12月発行 | | |

※スケジュールはあくまでも予定ですので、変更となる場合もあります。

■和歌山支部広報の変更点

和歌山支部では、平成27年4月より和歌山支部ホームページをリニューアルしました。

和歌山支部広報誌「共済わかやま」についても、この4月号より内容を一新してページ数を8ページから16ページへ増量して発行します。その他にも共済タイムリーの発行を行い、組合員の皆様に役立つ広報に努めてまいります。